

CASBEE-建築(新築)2016年版
令和2年度市営香岐住宅新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体		
		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質						2.8		
Q1 室内環境			0.40		-	3.0		
1 音環境		2.0	0.15	3.1	1.00	3.0		
1.1 室内騒音レベル	CASBEE(新築)マニュアル(参考)室内許容騒音レベル	3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音	(共用部)指定なし(住居部)T1以上	1.0	0.50	3.3	0.50			
1 開口部遮音性能	RC壁 厚み18cm	1.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	レベル3程度	-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	レベル3程度	-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	レベル3程度	-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音	-	-	-	-	-			
2 温熱環境		-	0.35	3.0	1.00	3.0		
2.1 室温制御		-	-	3.0	1.00			
1 室温	空調機器居住者設置	-	-	-	-			
2 外皮性能	等級3	-	-	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性	-	-	-	-	-			
2.2 湿度制御	空調機器居住者設置	-	-	-	-			
2.3 空調方式	空調機器居住者設置	-	-	-	-			
3 光・視環境		2.7	0.25	3.3	1.00	3.2		
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 昼光率	4DKタイプ(DK)	-	-	3.0	0.50			
2 方位別開口	南面に窓あり	-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備	昼光利用設備なし	3.0	1.00	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30			
1 昼光制御	(共用部)庇(住居部)バルコニー+カーテン	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度	-	3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御	-	3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.0	0.25	2.7	1.00	2.7		
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63			
1 化学汚染物質	-	3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38			
1 換気量	-	3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	DK(2DK-1)	-	-	1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-			
2 喫煙の制御	-	-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.8		
1 機能性		2.7	0.40	2.8	1.00	2.7		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	-	-	-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画	移動等遠隔化基準を満たす	3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40			
1 広さ感・景観	天井高さ2.5m以上確保	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-			
3 内装計画	-	1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	床:防水モルタル金ゴテ、開口部:アルミ水切り	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	倉庫の確保、廊下に勾配確保、ゴミ置き場の設置、屋上に丸環の	4.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-			
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	水セメント比50%以下、水セメント比に応じた最小かぶり厚さ	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	複層塗材RE	2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	複合フローリング	3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:PEP、汚水排水:VP、雑排水:VP	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	2.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-			
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20	-	-			
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備	-	3.0	0.20	-	-			

3	対応性・更新性		3.2	0.30	2.6	1.00	2.6
	3.1 空間のゆとり		-	-	2.2	0.50	
	1 階高のゆとり	階高2.8m	-	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	2DK-1タイプ	3.0	-	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	建築基準法を満たす性能	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.2	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	配管スリーブ	4.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.6
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	等級3	3.0	0.20	-	-	3.0
2	自然エネルギー利用	外皮2方向に面している	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版) Ver 2.8.1	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	取扱説明書が手渡されている	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.5
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	大便器:超節水型	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7
	2.1 材料使用量の削減	取り組みなし	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	再利用なし	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	使用なし	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	基礎下:再生クラッシャーラン	5.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	No.1:躯体+壁紙、No.2:配管等の躯体打ち込みなし	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	スタイロフォーム	4.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮		3.8	0.33	-	-	3.8
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	浸透枳設置	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	No.1、3、5	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	No.1、2、3	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	規制対象外	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	要請なし	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	規制なし	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明なし	3.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	レベル4を満たさない	3.0	0.30	-	-	